

ハンガリーにおける雇用政策の変容

柳原 剛司

(松山大学経済学部講師)

2012 年 7 月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

ハンガリーの 2000 年代の福祉レジームの変容に関し、雇用政策を中心にした社会政策の改革の事例から検討を行なっている。第 1 節および第 2 節では、議論の前提となるべき、ハンガリー経済動向の俯瞰と、資本主義の多様性論や福祉レジーム論などの類型論の中東欧諸国への適用に関する議論をとりあげている。第 3 節では、EU 加盟までのハンガリーの雇用政策・社会保障制度の変遷をとりあげ、その特徴を示した後、第 4 節において、実際の改革例を示しつつ、現時点で新自由主義的なレジームへ変容したと見るのは適切ではないものの、近年「寛大な給付の削減・廃止と、制裁をともなう労働市場への復帰・包摂」をめざした流れがあることを示した。

キーワード：労働市場包摂、福祉レジーム、ハンガリー

2011 年度次世代研究「ハンガリーにおける福祉レジームの変容：雇用政策と社会的包摂政策の観点から」（研究代表：柳原剛司）による成果である。

【メンバー】（ ）内は 2011 年度プロジェクト時点

柳原 剛司（京都大学大学院文学研究科グローバルCOE研究員）